2024年7月16日 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

2023 年度 東海 3 県主要集客施設・集客実態調査の結果を公表

~新型コロナ5類移行によるイベント再開・規模回復で約6割の施設が対前年度比集客数増 団体旅行の回復や"あいち県民の日・あいちウィーク"も好影響~

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:池田 雅一)は、「2023 年度 東海3県主要集客施設・集客実態調査 | の結果をとりまとめましたので、お知らせいたします。

1. 本調査について

本調査は、東海 3 県(愛知県、岐阜県、三重県)の集客施設における集客実態を把握するため、毎年実施しているもの です。今回は 2024 年 4 月~5 月に各施設に対してアンケート調査を実施し、2023 年度(23 年 4 月~24 年 3 月)の集 客実態について 73 施設から回答がありました。

今年度の調査では、新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)流行前※1との状況比較のため、19年度、22年度、 23年度の3カ年度分の集客状況を掲載しています。

2. 調査結果の要旨

(1) 集客数上位施設について

集客数上位5施設の集客状況は下表の通りとなりました。

	施設名	集客数 (対 22 年度比)	結果分析
1	ナガシマリゾート (三重県桑名市)	約 1,300 万人 ^{※2} (8.3%増)	18 年連続で首位。団体旅行の回復が集客数増に寄与したが、 新型コロナ前の水準には戻っていない。
2	刈谷ハイウェイオアシス (愛知県刈谷市)	約 766 万人 (4.0%増)	新型コロナで規模縮小していたイベントの規模回復等により集 客力を増強。新型コロナ 5 類移行による国内旅行者の行動範 囲拡大に伴う、高速道路利用者の立ち寄り増も寄与。
3	中部国際空港セントレア(愛知県常滑市)	約 640 万人 (32.9%増)	新型コロナで休止・規模縮小していたイベントの再開・規模回復 等も集客増を後押ししたが、国際線の回復遅れに伴い、新型コロナ前の水準には戻っていない。
4	河川環境楽園 (岐阜県各務原市)	約 419 万人 (1.5%増)	施設でのイベント再開が特に好影響となったが、親水遊具の利用規制、夏期豪雨に伴う駐車場の利用規制などが悪影響。
5	バンテリンドームナゴヤ (旧 ナゴヤドーム) (愛知県名古屋市)	約 360 万人 (13.6%増)	野球日本代表"侍ジャパン"の WBC(ワールド・ベースボール・クラシック)優勝による野球人気の高まりがプロ野球試合への動員に好影響。

^{※2 「}ナガシマリゾート」は年度値(23 年 4 月~24 年 3 月)ではなく、年間値(23 年 1 月~12 月)



^{※1} 新型コロナ流行防止のための「新型コロナウイルス対策の特別措置法」は2019年度(20年3月)に成立したが、本調査で は1回目の緊急事態宣言の発出(20年4月)前の2019年度を「新型コロナ前」と設定

News Release

(2) 対 22 年度比増減および対 19 年度比増減の傾向について

対 22 年度比では、73 施設※3 中 42 施設(57.5%)で集客数が増加、31 施設(42.5%)で減少となりました。新型 コロナが 5 類感染症に移行されたことに伴う、施設でのイベント再開・規模回復や、団体旅行の回復等が集客数増 に寄与しました。増加した施設の割合を施設種別で見ると、屋内型施設では、84.2%を占める一方、屋外型施設で は 28.6%にとどまりました。これは、お盆期間中の台風直撃や猛暑による出控えが、特に屋外施設にとって悪影響と なったものと思われます。

対19年度比では、71施設※3中20施設(28.2%)で集客数が増加しており、新型コロナ前の水準を上回りました。 特に屋外型施設で対 19 年度比増の施設割合が低く(14.3%)、台風や猛暑の天候が影響したと見られます。

調査結果の詳細につきましては、当社ホームページ掲載のレポートをご覧ください。 https://www.murc.jp/library/report/seiken 240716/>

【本件に関するお問い合わせ】

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

観光戦略室 兼 研究開発第2部(名古屋) 加藤、内田

〒460-8627 愛知県名古屋市中区錦 3-21-24 三菱 UFJ 銀行名古屋ビル

【報道機関からのお問い合わせ】

コーポレート・コミュニケーション室 杉本 E-mail: info@murc.jp 電話: 052-307-0764

配布先 名古屋証券取引所・金融記者クラブ



^{※3} 過年度の数値と比較可能な施設